

# 平成 30(2018)年度 教育センター運営委員会議事録（概要）

○開催日時 平成 31(2019)年 2 月 12 日（火）午前 9 時 30 分から午前 11 時 00 分

○出席者：小野寺委員、廣川委員、品田（隆）委員、箕輪委員、堀井委員、岸委員、山崎委員、佐藤委員、小林委員、小黑委員、品田（史）委員 以上 11 人（順不同）

○事務局：本間柏崎市教育長、堀刈羽村教育長、山田所長、古川副所長、田村情報教育主事、廣田協力員、庭山専任所員、藤巻課長代理 以上 8 人

## 【会議概要】

I 開 会 本間柏崎市教育長挨拶  
堀刈羽村教育長挨拶

II 自己紹介：各委員が自己紹介。事務局員も自己紹介を行った。

正副委員長の選出：事務局案を提出。委員長に柏崎小学校の堀井校長、副委員長に鏡が沖中学校の岸校長を推薦。（全会異議なし）

## III 報告・協議事項

委員長：今年度の事業運営及び実績報告について事務局の説明をお願いします。

1 今年度の事業運営及び実績報告について、資料に基づき説明を行った。

(1) 教育研究班（教職員研修）-----古川副所長

教育研究班（情報教育）-----田村情報教育主事

(2) 教育研究班（科学技術教育）-----廣田協力員

## <質 疑>

A 委員：教職員研修、情報教育、科学技術教育の全てにおいてお聞きしたい。昨年の受講者数と比較して、教職員研修はマイナス 77 人、科学技術教育は科学の祭典の参加者数を除くとマイナス 70 人、逆に情報教育は講座が 3 コース増えてプラス 74 人の受講者となっている。その点をどのように分析しているか。

事務局：教職員研修については、昨年度 8 月に市 P 連と共催で行った研究大会が、今年度は PTA の全国大会が柏崎市で行われるということで行われていない。その参加者数が約 600 人であったので、マイナス 77 人ということは、研修大会を除く他の研修講座の受講者数は増えている状況である。

事務局：情報教育については、以前はあった学校教育研究会の情報教育の部門が無くなったため、まとまった人数の参加が見込める講座が非常に減ってしまった。その影響もあって、参加者数は伸び悩んでいる。今後の課題としては、現在、整備を進めている電子黒板を活用した講座を行うなどして、受講者を増やしていきたいと考えているが、来年度は、校務支援システムの更新もあり、その講習会が中心となりそうである。

事務局：科学技術教育については、研修の数が減っていることと昨年度は教職員理科教育研究会が柏崎市で開催されたが、今年度は妙高市での開催となっているためと考えている。

事務局：参加者数が話題となっているが、数字だけでは判断できない部分もある。一方、大事にしてい

なければならない部分もある。教職員の働き方改革等々で研修会に参加しづらくなっているところもあるのではないかと。同じような研修では参加者が集まらないと思うので、工夫して参加してみたいと思うような研修を計画していかなければならないと考えている。参加して良かったという研修が増えることにより、学校を空けることよりも余りある効果があれば、結果的に学校での諸問題が解決され、さらに研修会に参加しやすくなるという循環を生まなければいけないと思っている。

C 委員：科学技術教育について、お聞きしたい。16時から開催しているワンポイント研修は、出やすくなるための工夫ではないかと思うが、今までは行っていなかったのか。

事務局：昨年度から開催している。

C 委員：参加率はどうか。

事務局：あまり良くないが、「終学活が終わっているので、助かった」という受講者の声は聞かれた。

D 委員：ワンポイント研修は、中学校も対象か。

事務局：そうです。

D 委員：中学校は16時5分頃に終学活が終わり、その後、部活動があるので参加はできない。

委員長：今年度の事業運営及び実績報告について決議を行います。運営委員会として承認としてよろしいでしょうか。

<拍手による承認>

委員長：教育センターの移転について事務局の説明をお願いします。

2 教育センターの移転について-----山田所長

<説明>

現在の教育センターは、教職員研修・科学技術教育・相談支援・引きこもり支援と4つ機能がありますが、いずれの機能も更に高めていきたいと考えています。

教職員研修は柏崎小学校に、科学技術教育は第一中学校に移転します。児童・生徒や教職員、各種事務局との連携を図ることが可能となります。学校併設型の利点を活かした実践研究的な内容を取り入れていきたいと考えています。

相談支援・ふれあいルームは教育分館3階に、引きこもり支援センターは元気館に移転します。発達通級・言語通級・難聴通級がある柏崎小学校や第一中学校と近い中央地区に集結することにより、連携がとりやすくなり、悩み事相談等にプラスになると考えています。

次に距離的な面です。教職員の人数や学校数的には中央地区にあった方が、メリットであると考えています。

最後になりますが、児童生徒数が減少している中において、空き教室を有効活用できるというメリットもあります。

なお、デメリットとしては、柏崎小学校を利用する場合には、アクアパークの駐車場を利用しているだけでこととなります。また、これまでよりも手狭になるという点があります。

以上が移転理由となります。

<質 疑>

A 委員：今後の動きについて確認したい。ふれあいルームが教育分館3階というのは、二の足を踏む親や子がいるのではないか心配である。どのような対策を考えているのか聞かせてほしい。また、第一中学校に移転する理科センターについても2階と聞いているが、入り口はどうなるのか。

事務局：1階にエレベーターがあり、比較的人に会わずに3階へ行けるのではないかと考えている。

事務局：第一中学校に移転する理科センターは、玄関から遠い位置にあり、現在の第一中学校の教務室の上が、事務室と理科室になる。教務室の前を通ることとなるが、玄関にインターホンを付けたり、研修時は名札を付けてもらったりするなどして、利用者の負担軽減を考えている。柏崎小学校は、廊下にシャッターが設置してあり、学校とは分離されている。また、児童クラブと横並びとなるが、玄関は非常口を利用して分けてある。

B 委員：入り口は別になるのは分かったが、児童クラブの利用者と研修参加者の廊下など行き来はどのように分けるのか。

事務局：廊下やトイレが共用のため、研修時間帯は、廊下が多少にぎやかになると思う。

C 委員：現在、調整中であるが、これまでは児童クラブの利用者は廊下で遊んでいたが、体育館で遊べるように出来ないか検討していきたい。また、研修室の上が音楽室となっているが、研修中は利用しないように配慮していきたい。

D 委員：これまで生徒・保護者が夜間もふれあいルームを利用させてもらっていたが、時間帯の変更はないということよろしいか。

事務局：変わりありません。

委員長：平成31年度（2019年度）の事業概要について事務局の説明をお願いします。

3 平成31年度（2019年度）の事業概要について、資料に基づき説明を行った。

- (1) 研修講座-----古川副所長
- (2) 教育の情報化の推進-----田村情報教育主事
- (3) 柏崎刈羽地区科学技術教育センター-----廣田協力員

<質 疑>

E 委員：学校現場は、研修に出たいと思っても出にくくなっている。例えばデジタル教科書を教育委員会として推奨するのであれば、学力向上の研修として、研究主任を巻き込んで各校で活用してもらう方法がある。また、防災教育学習会と柏崎学と結び付けて研修を行う方法も考えられる。研修回数よりも研修の質を高めるということで十分に機能を高めていくことができると考える。

D 委員：私の職員は研修に参加しづらくなっていると感じている。そんな中で参加して良かったと思う研修を行っていかうと行っているが、先般、まちからで防災教育研修があり参加した。きっかけは、たまたまパンフレットを目にして興味があったので参加した。参加してみると、防災教育の大切さ、地域の人や関係機関との連携の大切さを学ぶことが出来た良い研修会で

あったが、行ってみないと分からないというものが多い。大体の研修は行けば何かしら得るものがある。行かないことには話にならない。大変になるかもしれないが、チラシを配るだけではなく、行きたくなるように PR の工夫をもっとしてほしい。

事務局：デジタル教科書の研修に関しては、1つの研修の価値と価値を繋げて深い価値にしていこうということかと思う。PR に関しては、実施する側も研修の価値を良く分かっていないと出来ないことであるので、考えを深めていきたいと思う。しかしながら、パソコンがアップデートを行うように教職員も日ごろから資質の向上をしていこうという意識を持ってもらうような研修も必要ではないかと感じた。

C 委員：プログラミング教育に関して、学校現場は、どこから手を付けていいのか分からない状況である。市としてどのように進めていくのか。講座との位置づけについて聞かせてほしい。また、学校併設型となる利点を活かした研修というのは、どういうものなのか、もう少し具体的に聞かせてほしい。

事務局：現段階としては、外部から来た教諭から柏崎小学校の授業を見てもらい、授業づくりや授業の在り方等について検討していくような研修講座を設定していきたいと考えている。プログラミング教育については、国や県、近隣の市町村教育委員会の動向を見ながら、今後検討していく。

委員長：平成 31 年度（2019 年度）の事業概要について決議を行います。運営委員会として承認としてよろしいか。

<拍手による承認>

委員長：その他について、事務局で用意しているものがあれば説明をお願いします。

#### 4 その他

事務局：事務局としてはない。委員の皆様から何かあればお願いしたい。

F 委員：2点確認させてほしい。1点目が、教育センターの移転について、今後もずっとこの体制で行くのか、あるいは将来的に、たとえば現在の市役所が移転後、そこに入るとかというような考えがあるのか。2点目が、情報教育に関してですが、現在タブレット端末が2台あり、移動させながら利用しているが、Wi-Fi 環境の整備やタブレットの導入が進むのかどうか聞かせてほしい。

事務局：1点目は全く白紙である。2点目は、全国的な流れとか、他市の動向も踏まえて、遅れをとらないように対応していきたいと考えている。

事務局：補足になるが、小学校でタブレット PC を使用しているが、中学校はタブレット PC をあまり欲しがっていなかったこともあり、積極的に導入してこなかった経緯がある。今後ご意見をいただければ対応していきたいと考えている。Wi-Fi 環境の整備については、小学校は2教室に1台の割合でルータを整備した。固定型の Wi-Fi 環境が整った。中学校は来年度整備する予定である。しかし、そんなに高価なものではないので、40台が一斉に動くようなものではなく、数台が動くような環境である。

事務局：教育センターの移転について、事務局が白紙と申し上げたのは、1つは国の制度設計が、頻繁に変わっているという実情がある。非常にやりづらくなっている。平成15・16年くらいからと記憶しているが、子供達を見る部分で幼稚園・保育園も含め、教育行政の中で見ましようと言っていた。それを受け、市では平成22年に婚活事業も含め、全て教育行政で行ってきた経緯がある。しかし、昨年度から児童虐待について、福祉行政に戻した経緯がある。これは、これまで教育行政の中で抱えていたが、おさまりが付かなくなってきた時代となってきた。児童虐待については、教育の現場を遥かに超えた部分で物事が進む時代となってきた。昨年からこども課を教育委員会から市長部局に移したところである。教育センターの機能についても、子どもたちや親のことを考えた時に学校の教育現場だけでは、出来ない部分もあると思う。そこをいろいろな機関・機能が一緒になって子ども達を応援していく仕組みづくりにしていかなければ、これからの行政は対応できなくなってくると思う。そういった中で、市の機能や場所のことをどのように考えていくかというのが、出てきている。今時点で考えられることを精一杯させていただいている。時代の流れの中で考えていきたいと考えているのでご理解いただきたい。

#### IV情報交換

事務局：情報交換に移ります。ご意見・ご要望のある方は、お願いいたします。

A 委員：電子黒板の数を増やしていただきたい。職員の方からは好評である。使う回数も増えている。

1 教室1台ぐらいになれば嬉しいと考えている。

A L Tの活用についての研修を実施してほしい。文化の違いや特性などもあり、苦慮しているところもある。

地元への愛着などに教育行政として力を入れるのであれば、それに沿った研修が一覧表に羅列してあれば良いが、そうっていない。

その反面、特別支援の研修は多く、参加した職員はとても素晴らしい研修であったと復命書を全員に回覧した。

今後は学校の現場に即した研修を計画していただきたい。

事務局：物事に優先順位がある。現在のところ、エアコンが優先順位的に1番になっています。電子黒板の予算もついていますし、A L Tや英語教育を含め、現在、模索している最中である。

事務局：研修講座については、ご意見を参考に計画を立てたいと考えている。

G 委員：教職員の方が、研修に参加しづらいという話があったが、私は工科大学の教諭なので、科学実験などを頑張りたいと思っている。授業の中に私たちが出向くことも出来るので、積極的に活用してほしい。

D 委員：うちの職員は、科学の祭典で非常にお世話になっており、感謝している。

H 委員：P T Aの立場と地元企業の立場として、話をしたい。柏崎工業高校の防災教育の中で災害時に有効な小規模水力発電のための水車づくりを行った。新潟工科大学の先生方からもご協力いただいた。当市には、活用できる環境にあるので、有効に活用していくべきであると考えている。

私の小学校で柏崎信金のIさんという方から地域の歴史について、戊辰戦争について、大洲・

鯨波地区での鯨波戦争について、6年生を対象に2日間行った。地域の皆さんや企業の皆さんを活用する手法もあると思うので、柏崎学などにも活用できるのではないか。より地域との関係を深めてほしいと考える。

V 閉 会 岸副委員長挨拶